

ぞうさん広場

vol.8
2016夏号



インタビュー
特集

質の高い医療に不可欠な治療の司令塔 病理診断科とは?

看護師のお仕事紹介
退院支援リンクナース

がんセンター特集
外来化学療法

最近の出来事
熊本地震発生。当院DMAT隊員が出勤!

登録医紹介
新任スタッフ紹介
市民健康講座 / 公式SNSのご案内
こんにちは赤ちゃん
健康食のススメ



こんにちは赤ちゃん/ 当センターでたくさんの赤ちゃんが生まれています!



湊音(みなと)くん
平成28年2月5日生

わが子へのメッセージ

ミナトくん、産まれてきてくれてありがとう!日々、表情が増えていく君を見ているのが嬉しくてしかたないです。大好きだよ!



虎義(とらよし)くん
平成28年2月14日生

わが子へのメッセージ

パパとママのもとに産まれてきてくれてありがとう♡虎義のお姉ちゃんもパパもママも虎義の事が大好きです!!!!



憂(ゆい)ちゃん
平成28年2月16日生

わが子へのメッセージ

わが家に産まれてきてくれてありがとう!毎日が幸せです!家族みんなでたくさんの笑顔を送りましょう♡



由征(ゆうせい)くん
平成28年2月22日生

わが子へのメッセージ

産まれてきてくれてありがとう。パパとママとお姉ちゃんといっばい遊ぼうね。すくすく元気に育ってね。

健康食のススメ

コレステロールが気になる方に さばのトマト煮

さば、いわし、あじ、さんまなどの青背の魚にはLDL(悪玉)コレステロールを減らし、HDL(善玉)コレステロールを増やす働きをするエイコサペンタエン酸(EPA)やドコサヘキサエン酸(DHA)が多く含まれています。

血液サラサラ!
動脈硬化の予防に!

栄養価(1人分)	
エネルギー	234kcal
塩分	1.1g
食物繊維	3.6g



材料(2人分)	さば	2切れ	にんにくみじん切り	小さじ1
	玉ねぎ	1/2個	オリーブ油	小さじ2
	なす	1本	固形スープ	1/2個
	ズッキーニ	1/3本	水	100ml
	トマト水煮(缶詰、カット)	200g	塩・こしょう	

- 【作り方】**
- 1 さばは1/2にカットし、両面にかかる塩こしょうをふる。
 - 2 玉ねぎはみじん切り、なすはへたをとり皮を縞目にむいて1cmの厚さの輪切り、ズッキーニも輪切りにする。
 - 3 フライパンにオリーブ油少々を入れて、さばの両面を軽く焼き、取り出しておく。
 - 4 フライパンに残りのオリーブ油を入れて、にんにく、玉ねぎを炒める。
 - 5 なす、ズッキーニを加えて炒める。
 - 6 トマト、固形スープ、水を加え、野菜がやわらかくなるまで煮る。
 - 7 ③のさばをフライパンに戻し、2~3分煮ればできあがり!

質の高い医療に不可欠な治療の司令塔 病理診断科とは？

診療を陰でサポートし、診断における最終決定を担っている病理診断科。臨床医を支え続ける病理診断科の役割について話をお伺いしました。



左から：
病理診断科 岩本 督徳 医師 / 臨床検査技術科 副技師長 佐々木 伸也 さん
臨床検査技術科 岡竹 里紗 さん / 臨床検査技術科 茂山 かおり さん
臨床検査技術科 鈴木 雄策 さん / 病理診断科 部長 棟方 哲 医師

**病理診断科とは
どのような医師が
どのような仕事を
しているのでしょうか？**

文字どおり病理診断をするのが仕事です。患者さんから採取した組織や細胞に現れた病変を、「病理医」と呼ばれる医師が顕微鏡を通して詳細に観察し、がん等の病気の判別をします。直接患者さんを診ることはありませんが、主治医である臨床医と常にディスカッションし、細やかに連携を取っています。主治医の診断や治療方針を左右する大きな役割を担う仕事です。

具体的な治療例は？

病理診断により、早期に治療ができた患者さんがおられました。その患者さんは首にしこりができ、組織検査のために当院でしこりを摘出しました。病理で調べた結果、しこりはリンパ節で、がんの転移が見つかりました。より詳しい検査で婦人科由来のがんである可能性が強まり、産婦人科で検査をしたところ、子宮から採取した細胞からはがん細胞が、画像検査では子宮のそばに塊が見つかりました。手術の結果、リンパ節で見つかったがんと同じものでした。このように、病理診断科は患者さんをどのように治療していくかの指針を、臨床医に示すことができる科です。



**堺市立総合医療センター
の病理診断科では、
病理解剖もされていると
聞きました。**

病理解剖とは、治療の結果お亡くなりになられた方、予期せずお亡くなりになられた方を、さらに深くお調べすることです。我々の治療が、その患者さんにとって本当に正しかったのかなどの検証を含め、研究レベルでの診断を行います。今後の病気にどういった治療が最適なのが見極めていくうえで、とても大切なことだと思っています。

**堺市立総合医療センター
の病理診断科の特長や
他の病院に負けない
強みを教えてください。**

最近、遺伝子を調べる検査方法を導入しました。一つは蛍光顕微鏡を使った「FISH検査」というものです。わかりやすく言いますと、遺伝子を蛍光色素で染めて顕微鏡で見ること

で、染色体異常など遺伝子の変化を調べることができます。そしてもう一つはアイデンシィー(density)という遺伝子解析装置の導入です。遺伝子の変異を簡単に測定できる機械です。

**遺伝子解析装置を
導入されたメリットは？**

薬の効き目や副作用に個人差が生じる原因の一つは、薬物代謝酵素の遺伝子の型によるものであることがわかっています。投薬前に遺伝子検査をすることで、適切な薬剤選択や投与量の設定ができるのです。しかし、この遺伝子型判定には煩雑な操作と多大な時間が必要なため専門の業者に依頼していたのですが、それを院内で、しかも高い精度で迅速に解析判定し、臨床医へ報告書を上げることができるようになります。

病理の魅力とは？

病理医は臨床医とは違って一

**病理医として
アピールしたいことは？**

人ひとりの患者さんとお話することはありません。しかし診ることのできる患者さんの数、向き合うことのできる検体の数は臨床医とは比べ物になりません。経験を積み、素早く正確な結果を報告することで、臨床医からも一目置かれ、コンサルタント的な役割を担える存在感に大きな魅力を感じています。

**今後の目標を
お聞かせください。**

基本は、いつも正しい診断ができるということ。さらに、新しい検査手段も導入しながら、より質の高い診断をしていきたいと思っています。堺市立総合医療センターの目指す方向性、「高度な医療の提供」を常に意識しながら、病理診断に真摯に向き合うことを続けていきたいです。また、研修医や臨床医のサポートをしながら、病理医の可能性をもっとアピールしていけたらと考えています。



看護師には
こんなお仕事があります！

「退院支援リンクナース」

リンクナースってなあに

リンクナースとは、病院内の専門チームと病棟を繋ぐ看護師のことです。最新の知識や技術を学び、現場のリーダーとして、病棟スタッフ一人ひとりに浸透させる役割をもっています。感染管理や褥瘡対策、栄養サポートなどの専門チームのリンクナースは有名ですが、今回は新しい存在である「退院支援リンクナース」についてご紹介します。



退院支援とは

これからの医療は病気と共存しながら生活の質（QOL）を高め、患者さんが自分の病気を理解し、退院後にも必要な医療・看護を受けながら、どこで療養するのか、どのような生活を送るのかを、自己決定する支援が「退院支援」です。そして、患者さんやご家族の意向を尊重しながら、退院後に必要となる社会保障制度や社会資源、地域サービスを患者さんが利用できるようなのが「退院調整」です。退院支援チームは、地域連携センターの退院調整看護師や外来・病棟の看護師、専門・認定看護師などで構成されており、それぞれが研修などを通して新しい知識を得て、それらを共有することで、患者さんが生活の場に戻ることが支援されています。チームができた年は、主にマニュアルづくりやその運用について検討し、現場への周知に努めてきましたが、現在はリンクナース一人ひとりが、退院支援の実践を積み重ねています。

治療が終わった時、安心して退院できるように

これまでは治療のために入院すると、「治る・元気になる・元の身体に戻る」と思われてきました。しかし、高齢化が進む中で、慢性疾患や複数の疾病を抱える患者さんが増え、「サポートが必要になった」状態が自宅へ戻れることもありません。当院は緊急重症な患者さんの治療を担う役割をもつ、急性期病院です。患者さんは治療が一段落すると、退院されることもあれば、リハビリを専門としている病院など、次の療養場所へ移られることもありま。これまでの「病院完結型」の医療から、地域全体で支えていく「地域完結型」の医療到来にあたり、病棟看護師は患者さんが入院された時から退院後の目標を一緒に立て、それを実現するために必要なサポートを考えていきます。患者さんが自分の病気や治療をどう感じておられるのか、治療後はどうされたいのか、生活の中で何を大切にされているのか、退院後はどのようなことが不安なのか、



看護局次長 退院支援担当
小澤 元子

がんセンター特集

「外来化学療法」

外来化学療法とは

患者さんが、外来通院で抗がん剤治療を行うことです。近年、新しい薬剤の開発、嘔吐・吐き気などの副作用を軽くする治療（支持療法）や、がんに伴う苦痛を和らげる治療（緩和ケア）の進歩、日常生活を送りながら外来で治療したいという社会的ニーズなどに伴って、外来化学療法が普及してきました。外来化学療法を安全に行うためには、医師、薬剤師、看護師などがそれぞれの役割を果たし、情報を共有しながらチーム医療を行うことが大切です。また、起こり得る副作用とその対処方法を、患者さん自身に理解しておいていただくことも大変重要です。

堺市立総合医療センターの外来化学療法センターの現状と将来

外来化学療法センター（ATC: Ambulatory Treatment Center）は、通院で抗がん剤や分子標的薬などによる、薬物治療（化学療法）を受けていただく部門です。当センターでは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、メディカルクラーク、医療相談員、事務などの医療スタッフが力を合わせた「チーム医療」をモットーとし、患者さんが安全・快適に、かつ安心して治療に専念できる環境を整えています。現在はリクライニングチェアを中心に23床設置し、快適な空間で治療を受けていただけるようになりました。ATCでの化学療法実施件数は年々増加しており、大腸がん、血液がん、乳がん、胃・食道がん、肺がんの順に多くなっています。



安全・安心・確実な外来化学療法を行うための取り組み

化学療法だけでなく、手術療法、放射線療法、緩和ケアなどを組み合わせた集学的治療「緩和ケア＝終末期医療」ではなく、病気のどの時期においても行われる医療であり、がんと診断された時から行われるものです。緩和ケアが必要な患者さんご家族には、緩和ケアチームも支援を行っています。

科学的根拠に基づいた治療（レジメン登録審査等体制）と安全に配慮した治療システム

抗がん剤の管理は、科学的根拠に基づいた適切な治療かどうかについて、レジメン登録審査会で検討します。承認後にレジメンオーダーシステムに反映され、患者さんの身長と体重に合った薬剤の量をコンピュータで計算します。それに基づいた処方箋を医師が行い、薬剤師が安全面から監査し、無菌キャビネット内で抗がん剤を調製します。このように、安全な抗がん剤治療が実施できるシステムになっています。



最先端の研究的治療への参加

「標準治療」に加えて、高度先進医療施設が連携して行う、最先端の『研究的治療（臨床試験や治験）』を実施しています。最先端の治療を受けることができる施設であり、がん治療成績の向上に努めています。

がん専門の医師、看護師、薬剤師、医療相談員、事務などによるチーム医療

スタッフ間の連携が、安全かつ高い治療効果のある化学療法を支えています。院内の連携だけでなく、ご自宅でも安心して過ごしていただけるように、周辺の診療所や保険調剤薬局との連携にも、積極的に取り組んでいます。医療費や自宅での過ごし方などの悩みをお持ちの方の個別相談にも応じています。



安全対策

安全な抗がん剤治療のために、点滴中のアレルギー反応や点滴部位のトラブルなどに関するマニュアルを用意し、迅速かつ適切に対応します。ご自宅でも副作用が起きる可能性がありますので、通院治療に不安がある方、治療の副作用で悩まれる方は、看護師または薬剤師が、電話相談に応じています。

副作用に対する迅速かつ適切な対応

副作用に応じて、歯科口腔外科、皮膚科、呼吸器内科など、専門医が対応できる体制を整えています。また、患者さんご自身にも、副作用をしっかりと理解していただくことが大変重要ですので、「副作用パンフレット」や「自己管理チェックシート」で、患者さんとともに副作用が起きたときの対処に備えています。

近隣の先生方と密に連携をとり、患者さんに最適な治療を受けていただけるよう努力してまいります。今後とも、堺市立総合医療センターのATCを宜しく願いたします。

マグニチュード7.3の大地震が熊本で発生 当院DMAT隊員が出動!

4月16日未明、震度7の地震が熊本県熊本市を中心に発生。それを受けて当院の災害派遣医療チーム(DMAT)が被災地に向けて出発しました。今回は当院DMAT隊が行ったのべ3日間にわたる被災地での災害医療活動の様子をお届けします。

DMAT(ディーマツト)とは?

大地震及び航空機・列車事故等の災害が発生した際、迅速に現場に駆けつけ、急性期(概ね48時間以内)に活動ができる機動性を持ち、現場で被災者の生命を守る救急治療を行うための専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)のことです。

堺市立総合医療センターは、堺市で唯一の災害拠点病院であり、DMAT指定医療機関です。当院DMAT隊員は中田康城救命救急センター長をはじめとする医師11名(内2名が統括DMAT隊員)、看護師11名、業務調整員7名の合計29名で構成しています。(平成28年5月現在)

DMAT活動の軌跡

一人でも多くの人を救うために



今回の活動は、派遣要請がかかってから約12時間後、発災から約15時間後、『防ぎえた災害死』のタイムリミットとされている発災から48時間以内に当院のDMAT第1隊がレンタカーにて熊本赤十字病院に到着し、第2隊が陸路でDMAT車両(ドクターカー)を熊本まで運んだことで夜間には両隊が合流でき、機動性の高い活動となりました。

また、今回は現地で携帯電話の使用が可能であり、院内DMAT本部との連携がスムーズに行えました。本部に駐在した後方支援メンバーのサポートを受けられたことで、現地での活動に全精力を注ぎ込むことができました。

今回の経験を活かし、より機動性・専門性の高い医療支援に務めてまいります。

救命救急センター 救急外科 副部長 能勢道也

当院の登録医の先生をご紹介します



高石市千代田
沢田
レディース
クリニック
 澤田雄至 院長



中区深井水池町
田中**医院**
 田中由宇志 院長



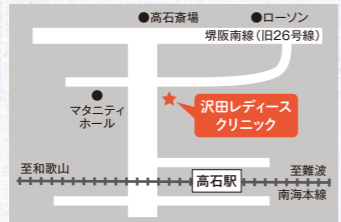
西区津久野町
なかやま
メンタル
クリニック
 仲山彰俊 院長



泉大津市二田町
うえにし
乳腺消化器
クリニック
 上西幹洋 院長

◆**当院の特長**
 高石市にあるアットホームな産婦人科クリニックです。妊婦健診をはじめ一般婦人科診療、更年期診療、不妊診療を行っており、若年の方からご心配の方まで女性のトータルケアをさせていただきます。現在お産はしていませんが、充実した妊婦健診を受けていただくため毎日助産師外来があり、常に助産師が精神的なケアをさせていただきます。また一般婦人科診療では若年の方でも気軽に安心して診療を受けていただけるようお腹の上からの超音波で行っています。

◆**私の診療モットー**
 「かかりつけ医」として気軽に相談させていただけるアットホームなクリニックを目指しており、「満足していただける診療」をモットーにしています。産科では、健診時に毎回胎児超音波を録画するほか、4D胎児立体超音波で胎児のリアルな様子を家族と一緒に楽しんでもらっています。一般婦人科診療では、子宮癌検診・乳癌検診以外に、特殊検査として癌リスクスクリーニング血液検査や血管年齢検査を、結婚予定の方のブライダルチェックも行っています。スタッフ一同、ご来院を心よりお待ちしております。



診療科目/産科、婦人科
 高石市千代田1-26-19
 ★南海本線「高石駅」より徒歩約5分
TEL:072-267-5200
<http://www.sawada-ladies.com/>

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○
17:00~19:00	○	○	○	○	○	○	○

◆**当院の特長**
 私は総合内科の専門医で、消化器内科に関しては内視鏡、超音波検査を含め、さまざまな診察を行っています。開院してから20年、地域の皆さんの健康管理を担うクリニックです。
 ◆**私の診療モットー**
 大きな病院では実現しにくい、地域の皆さんの健康相談にきめ細やかにお答えしていきたいと思っています。他の医療機関を同時に受診されている患者さんもたくさんいらっしゃいますので、一人ひとりのお話をちゃんと伺い、治療の重複や薬の飲み合わせにも配慮しています。もちろん、より深い専門的な治療が必要だと判

断すれば総合病院の先生に診ていただき、患者さんにとって最善の医療を提供できるように心がけています。また、基本的に幅広い年齢層の方が受診に来られますが、最近はお年寄りの方が多いため感染症対策には特に気を配っています。
 ◆**地域の皆さんへのメッセージ**
 お薬による治療も大切ですが、運動、食事など日々の生活習慣の改善は一つの病気の改善にとどまりません。健康は皆さん一人ひとりの大切な財産。良い日々を過ごせるよう、共に努力していきましょう。



診療科目/内科、放射線科
 堺市中区深井水池町3013
 ★東北高速鉄道線「深井駅」より徒歩約10分
TEL:072-276-2323

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00~19:30	○	○	○	○	○	○	○

◆**当院の特長**
 当院ではうつ病、躁うつ病、適応障害、不眠症、パニック障害、社会不安障害、心身症、認知症、統合失調症など心の病全般を専門的に診療しています。私は堺市立総合医療センターで身体疾患治療中の患者さんのメンタルヘルスケアで、主に救命病棟を中心に巡回するチームでの活動も行っています。より充実した地域医療を目指し、連携が取れる総合病院のそばに今年開業いたしました。
 ◆**私の診療モットー**
 診療内科・精神科はとっつきにくいイメージをもつ分野です。ですから医師の工夫次第でより効果的でスムーズな治療ができる分野であると

も考えます。たとえば、どんな病気でどんな薬を使い、その薬にはどんな効き目とどんな副作用があるのか。常に患者さん目線に立ち、言葉を選んで説明することも心掛けています。症状が軽くても地域の方々が気兼ねなく相談できるクリニックを目指しています。
 ◆**地域の皆さんへのメッセージ**
 早めの受診が大切です。初期段階であれば薬だけで対処できるのに、時間がたつて症状が悪化すると改善にも時間を要することになります。私は企業の嘱託医も経験しています。職場関係で辛いと感じておられる方もお気軽にご相談ください。



診療科目/心療内科、精神科
 堺市西区津久野町1-20-1 メディカル3F
 ★JR阪和線「津久野駅」より徒歩約5分
TEL:072-274-5489
<http://nakayama-mental.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	○

◆**当院の特長**
 私はもともと消化器外科医ですが、乳腺疾患や甲状腺腫瘍も専門としていきます。数々の基幹病院で勤務医としてがんの治療に携わってきました。地域に根差したかたちで乳腺と消化器の専門医療を、という思いでクリニックを開院し、今年で10年目になります。マンモグラフィや超音波など他のクリニックにはない充実した設備を備え、あらゆる検査ができるのが特長です。
 ◆**私の診療モットー**
 とにかく地域に根差すということを大切にしています。乳腺は初診から治療まで数年かかり、患者さんとの付き合いが長くなります。近くに

専門的な治療を受けられるクリニックがあることは患者さんにとってとても心強いことです。一般的なクリニックでは提供できない守備範囲の広さとレベルの高い治療で、患者さんが納得し満足できるクリニックを目指しています。
 ◆**地域の皆さんへのメッセージ**
 乳がん検診を定期的に受けることは大切です。この地域で乳がんになっても当院で完結した治療ができます。また、患者さんの約9割が女性ですが、ついでにと患者さんご主人が消化器を受診して帰られるケースも多いです。とにかく気軽に足を運んでいただければと思います。



診療科目/乳腺・甲状腺外科、消化器全般
 泉大津市二田町1-13-13 あすと松ノ浜2F
 ★南海本線「松ノ浜駅」より徒歩約2分
TEL:0725-33-0724
<http://www.uenishi-clinic.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○	○	○
17:00~19:00	○	○	○	○	○	○	○

市民健康講座のご案内

当院では地域の皆さんの健康の保持と増進を図ることを目的に、市民健康講座を1階ホールにて定期的で開催しています。医師を中心とした各分野の専門家が、身近な医療をテーマに詳しく解説いたします。どうぞお気軽にご来場ください。

◆市民健康講座予定表

開催月	担当	テーマ
6月度	腎代謝免疫内科	わかるそなえる糖尿病 ～血圧と糖尿病(合併症にならないために)～
	脳神経外科	脳血管内治療について
	泌尿器科	患者さんのからだにやさしい泌尿器科の手術 ～腹腔鏡手術とロボット支援手術～
7月度	消化器内科	ここまでできる消化器内視鏡
	腎代謝免疫内科	わかるそなえる糖尿病 ～糖尿病から寝たきりにならないために～
8月度	大腸肛門外科	大腸がん治療について
	心臓血管外科	体にやさしい大動脈手術
	循環器内科	狭心症、心筋梗塞になる前に・なってしまったら

※予定は変更になる可能性があります。詳しくは、広報さかい・当院ホームページなどでご案内いたしますのでそちらをご確認ください。

堺市立総合医療センター 公式SNSのご案内

公式ホームページ
<http://www.sakai-city-hospital.jp/>

最新情報満載!
フォローしてね



Facebookでいいね!

<https://www.facebook.com/sakai.city.medical.center/>



LINEで友だち追加

<http://accountpage.line.me/okn3978i>



Twitterでフォロー

https://twitter.com/Sakai_CMC



Google+でフォロー

<https://plus.google.com/114988341092655734472/about>



新しいスタッフを紹介します!

当センターに新しくスタッフが着任しました。よりよい診療体制の整備に向けて、新しい仲間とともに当院の理念である「全ての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療の提供」をめざし、今後も務めてまいります。



診療局

- 初期研修医 石井 沙季 (イシイ サキ)
- 初期研修医 泉谷 祐甫 (イズタニ ユウスケ)
- 初期研修医 織田 舞 (オリタ マイ)
- 初期研修医 加藤 一哉 (カトウ カズヤ)
- 初期研修医 金本 岳 (カネモト ガク)
- 初期研修医 小泉 直史 (コイズミ ナオシ)
- 初期研修医 長谷川 誠 (ハセガワ マコト)
- 初期研修医 濱崎 健弥 (ハマザキ ケンヤ)
- 初期研修医 藤坂 友美 (フジサカ トモミ)

消化器外科

肝胆膵外科 副医長 岸本 朋也 (キシモト トモヤ)

整形外科

部長 大野 一幸 (オノ イッコウ)



副部長 杉田 淳 (スギタ アツシ)



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

後期研修医 坂田 正行 (サカタ マサユキ)

内科統括部

- 後期研修医 妻鹿 旭 (メガ アキラ)
- 後期研修医 高慶 承史 (コウケイ ヨシフミ)
- 後期研修医 小高 直子 (コタカ ナオコ)
- 後期研修医 長谷川 耕平 (ハセガワ コウヘイ)

外科統括部

部長 藤田 淳也 (フジタ ジュンヤ)



救急外科

副医長 薬師寺 秀明 (ヤクシジ ヒデアキ)
 医員 山田 元彦 (ヤマダ モトヒコ)

小児科

副部長 川上 展弘 (カワカミ ノブヒロ)



医員 高野 良彦 (タカノ ヨシヒコ)

歯科口腔外科

副部長 上田 貴史 (ウエダ タカシ)



副医長 牛村 彩子 (ウシムラ アヤコ)

総合内科

医長 浅川 麻里 (アサカワ マリ)
 副医長 大武 陽一 (オオタケ ヨウイチ)
 後期研修医 木下 真孝 (キノシタ マサノリ)

循環器内科

医員 藤本 忠男 (フジモト タダオ)

産婦人科

副医長 中川 慧 (ナカガワ サトシ)

麻酔科

医員 前平 弥智 (マエヒラ ミチ)
 後期研修医 出口 美希 (デグチ ミキ)
 後期研修医 泉 江利子 (イズミ エリコ)

泌尿器科

医員 関井 洋輔 (セキイ ヨウスケ)
 後期研修医 伊藤 拓也 (イトウ タクヤ)

放射線診断科

副医長 中村 純寿 (ナカムラ マサヒサ)
 後期研修医 吉岡 恵理 (ヨシオカ エリ)